

今月のテーマ：賑やかな夏の訪れ、各地域の行事特集

コロナ禍で中止となっていたイベント・行事が少しずつ動き始め、賑やかな夏が戻りつつある松之山。今月は地域毎の行事と地域おこし協力隊の関わりをご紹介します。

黒倉集落

黒倉の田休み祭りでは通常日頃の仕事の慰労も含め、神社へのお参りの後に地域住民で集まって食事が通例だったので、過去3年間は厳しいコロナ禍の状況下で、集落住民で集まるとの飲食は控えていたそうです。実際に私が着任してから行った2022年の田休み祭りも、お参りのみで終わりとなりました。しかし感染状況が落ち着き、中止されていたイベントが各地で再開されている状況も受け、黒倉集落でも今年は4年ぶりに集落



△集会所内でのお参り



△食事会の焼肉準備

6月11日に黒倉集落では田休み祭りが行われました。5月の田植えの忙しい時期を終えて一息つける時間でもあり、地域の人々が集いコミュニケーションをとる貴重な機会でもある田休み祭り。今年の黒倉集落の田休み祭りは4年ぶりに食事会も開催することとなりました。



4年ぶりの田休み祭りの食事会
担当 上村 祥太郎

住民集まるとの食事会も再開することになりました。天気が雨だったため、神社へのお参りは場所を変更し、集会所内での参りとなりました。お参り前には焼肉のための食材の下拵えや会場準備を行い、私も準備に参加。お参り後には焼肉やきそばを囲み、談笑しながら楽しい時間を過ごしました。この田休み祭りは、これからの地域の行事が戻りつつあることを象徴する重要な機会となったのではないかと思います。

Matsunoyama Kawaraban
松之山かわら版
Vol. 06
2023年7月

編集
志水八千代
ローラン・アントワーン
上村祥太郎
平本大輔
平本菜緒

「松之山かわら版」は、松之山の地域に所属している地域おこし協力隊の活動広報誌です。

浦田地区



ずっと楽しみにしていた浦田の行事！
担当 平本 菜緒

日中はすっかり暑くなり、賑やかな夏がやってきました。朝自宅を出る時、息子を保育園に迎えに行くと自宅に帰ってきた時：朝から晩まで鳴り響く草刈りの音に、夏の訪れを感じます（笑）
移住してきて三年目ですが、今年は私たちが移住してきてから一番活動的な夏になりそうです。まずは数年間中止になっていた8月の行事『浦田地区芸能祭』の開催が決定しました！ずっと気になっていた行事で、まだかまだかと開催を待ち侘びていました。私と大輔は、普段から運営のお手伝いをしている『シニア体操教室 パタカラ会』の演目で出演する予定です。
また浦田の盆踊りも楽しみにしている行事のひとつです。小さい頃に遊びに行ったことはありますが、去年までの数年間は中止になっており住民としてはまだ参加したことがありません。今年の



△田植え体験で出会った野生のドジョウ



△田舎体験の中立山集落での様子
大輔が説明のお手伝いをしています

開催はまだ決定していませんが、開催の際には運営のお手伝いをしたいと思っています！
その他にも6月は、浦田の坂中〜月池の辺りにある山『三郎山』の山開きを開催したり（私は息子の体調不良により残念ながら参加できませんでしたが浦田に来てくれたり、とても賑やかな一ヶ月でした！私たちも協力隊の活動として、山開きのチラシ制作や田舎体験のお手伝いなど、色々な行事に携わらせていただきました。
田舎体験では、田植え体験のインストラクターや移住者としての講和、串餅作りのお手伝いなど、私たちも初めての経験ばかりでした。
今月も楽しみにしている活動がたくさんあるので、全力で頑張りたいと思います！

川手地区

まず嬉しいこととして、集落の米で造った日本酒「松風」が今年も無事に出来上がりました。それに伴い、6月30日に老人クラブ松風会も復活し、「松風」を通じて地域の活動も盛り上がりを見せています。

7月9日には重要なイベントが行われました。下川手集落の皆さんと三桶神社で田祭りをを行い、40年前の秋祭りのビデオカメラの映像



△螢鑑賞の前に草取り



△新潟大学生と螢の里看板作り

松之山に来てから体験する初めての夏。今からとても楽しみにしています。下川手集落で様々な行事が戻りつつあり、ようやく終わりを迎えたコロナ禍の孤独とは対照的に、とても陽気な雰囲気を出す機会となるでしょう。活気ある松之山の夏に今からとてもワクワクしています。下川手集落で行われるイベントを発表する前に、7月初旬以降に起こったイベントについて振り返りたいと思います。



下川手夏の風物詩

担当 ローラン・アントワヌ

布川地区



移住者の視点から見る 地域行事と地域課題

担当 志水 八千代

昔、開催されていた行事のことをそれぞれの地域の皆さんからよく話を聞かせてもらいます。みんなと一緒に旅行に行ったり、地域対抗の大運動会があったり、昔は子どももたくさんいて楽しかったと。

私はこの地域に地域おこし協力隊として子どもと一緒に来て、最初の頃は皆さんのお手伝いをしたり、子どもから大人までみんなが楽しめる行事などにも関わりたいと思っていました。ただ、ここに必要とされる土日や夜の時間は送迎などの中山間地の子育て課題とひとり向き合い奮闘しなければならぬ現実があり、ただただ必死に無心に生きていたらみなさんとの時間や計画もままならずあつという間に二年が過ぎてしまいました。それでも、平日の限られた時間の中で小さな輪かもしませんが、できる範囲で携わらせていただけたこともあり、支えてくれた方々に感謝をします。本当はこの二年間の中で他にもできること

があったのかもしれませんが家族を守りながら地域のためにできることはこれが今の自分の精一杯です。

昔のように大人も子どもも一緒に楽しめる行事というものを今、昔と同じやり方でこの地域の中で開催することは難しいと感じます。勿論、田休み祭りや賽の神など各地域ごとの行事や昔からの慣わしを受け継ぐことも大切にしながら、松之山全体でこれからの地域課題を話し合える機会を、若い人や子どもたちが自分たちの住む町がどうしたらもっと住みやすく魅力的な町になるかということをお自分事として捉え、関わり合うことが必要なのかもしれません。

まつのやま学園や雪里留学などのハードが整っているこの松之山に興味を持ち、移住してくる人がこの先も増えたとして、でも実際に住んでみて課題と思うことをそのまま放置していれば、結局来たはいいけど幸せになれない人も必ず出てきます。移住者を呼ぼうと言うよりまずは「今住んでいる人たちがちゃんと幸せか」のほうに私は大事だと思っています。その視点を持ち、住んでいる人たちがこれからの子どもたちの未来のために本気で関わり合っている場所に自然と人は集まります。

像を鑑賞し、当時を振り返りました。その時代集落の住民400人以上がステージに上がり、一緒に歌い、踊り、笑いあっていました。

7月1日、大学の学生との協力関係は続いており、田んぼの草取りをして一日を過ごし、下川手集落にある川で螢の素晴らしい光景を観察する機会がありました。

8月の集落の行事は以下の通りです。まずは8月14日の盆踊りです。もちろんどなたでもご参加いただけます。私もダンサーの一人になれたらいいなと思っています。月に一回、どなたでもご参加いただけるお茶飲み会を開催していますので、興味のある方はぜひお茶を飲みに来て、笑いながら昔話を聞きましょう。